

第9回

「議論の十字路、百万遍」

百万遍談議

かつて百万遍周辺の喫茶店では、「読書会」と称して、違う分野の学生が集まってひとつのテーマで議論をする姿がしばしば見られました。コーヒー1杯で数時間いても店の人は気にもせず、ひたすらコップにお水をついでくれたものです。

あるいは「下宿」に集まってなされた議論は、同じ下宿の他学部の人だけでなく、他大学の学生も加わって、それこそ朝まで延々と続けられたというのが茶飯事でした。

最近はコロナの影響もあり、学生同士の議論というものが影をひそめているように思います。加えてそもそも喫茶店自体がどんどん少なくなっていきます。

そこで、往時に盛んであったそんな議論の場を、「百万遍談議」として復活させようという思いから、このような企画が作られました。参加資格は、京都大学の学部学生であれば、学部や学年は問いません。

授業ではありませんので、なにかこうしなければいけないという義務はなく、単に興味があるから参加して、人の話をきき、自分の考えを述べる。それだけです。

毎回のテーマに関して、あらかじめ知識が必要となるわけではありません。唯一お願いするのは、毎回提示される「書物」あるいは「短文」を読んできること、それだけです。

「人はこんなことを考えているんだ」ということを知るだけでも楽しいですし、さらには、自分の考えを人にきいてもらうことの楽しさも、大学生に与えられたある種の特権です。気軽な気持ちで参加してください。

いろいろな人と人、人と言葉あるいは考えの出会いが生まれることを楽しみにしています。

今回読んできていただくのは、「よいこと・わるいこと」をテーマにした文章です。テキストは、下記QRコードの申込フォームに記載のリンクからダウンロードして読んでください。

話題提供者 宇佐美 文理（文学研究科教授）

テーマ 「よいこと・わるいこと」

主催：京都大学 学術研究展開センター（KURA）

場所：附属図書館3階共同研究室5

対象：京都大学学部学生（正規生）先着10名

使用言語：日本語

費用：無料

申込方法：右記QRコードよりお申し込みください →

<https://forms.gle/NY8C6yp3BDmg51si6>



【お問い合わせ】

京都大学 学術研究展開センター（KURA）

「百万遍談議」担当

jinsha@kura.kyoto-u.ac.jp

★これまでの開催記録はこちら →

<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/support/gakusai/dangi/>



京都大学



2023.9.30 [SAT.]

10:30—12:00

2023年9月30日
百万遍談議 開催報告

第9回 よいこと・わるいこと

話題提供者

沼田 英治 人と社会の未来研究院 特定教授

参加者：4名

[内訳]

1回生 1名（理学）

2回生 3名（文学、工学、農学）

談議メモ

公共空間のあらゆるところに監視カメラを設置し、犯罪撲滅を目指す架空の国家「Q国」を舞台にしたテキストの物語において、監視に対する抵抗への対策として「よいこと」を行うと相応の金額が支給されるという仕組みの是非に注目が集まりました。

それは「よいこと・わるいこと」とは、誰がどのようにして判断可能かという問いと同義であり、参加者の多くが「『よいこと』を評価できるのは『徳のある人』でなければ」ならないとするQ国の制度に対して疑義を投げかけました。「徳のある人だけがよいことを評価できるのか」「このシステムでよいことをする人が果たして増えるだろうか」など、さまざまな角度から議論がなされました。

終盤では、小学校や中学校における道徳の授業がどのような内容だったか、またそもそも「徳」とは何か、といったことに話題が広がりました。